

授業科目名	人体のしくみとはたらき I	担当者	柳井 和年
単位	—		
時間数	38時間	学年	1学年
授業形態	講義、解剖見学	開講時期	前期
授業の到達目標	人体の構造や各器官システムの働きの意味を、生活行動の観点から理解する。また骨格・筋・神経・感覚・血液・生体防御・循環・呼吸・消化・吸収・内分泌・腎尿路・生殖系について理解する。		
授業の概要	解剖生理学は、後に続く病態の理解や対象の健康障害を理解するために重要な科目である。看護の対象である人体のしくみとはたらきについて、各器官の部位、構造と機能を系統的に学ぶ。解剖見学により知識を深め、実際に触れることで学習意欲の向上を図る。生命や、医療職者としての倫理教育の機会とする。		
授業計画	<p><人体の構成></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人体各部の名称 ・人体の方向や位置 ・人体の形の特徴 ・人体の機能と器官系 <p><細胞からみた人体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・細胞(細胞の形、内部構造、分裂) ・細胞とそれを取り巻く環境 (ホメオスタシス、細胞外液・細胞内液、体液のイオン組成) <p><呼吸系></p> <ul style="list-style-type: none"> ・呼吸器系に属する器官 鼻、咽頭、喉頭、気管・気管支、肺、胸膜、縦隔) ・呼吸の生理 呼吸運動とその調節、肺気量とその分画、異常呼吸 ・ガス交換 死腔、肺サーファクタント、肺胞でにガス交換 ・酸素と二酸化炭素の運搬 ヘモグロビンによる酸素の運搬、二酸化炭素の運搬 <p><循環系></p> <ul style="list-style-type: none"> ・心臓の構造と機能 位置と形状、心臓と心膜、心臓の内腔と出入りする血管、心臓の弁と血管、刺激伝導系、神経、心臓のはたらき、心電図、心周期 ・動脈・静脈、リンパ系 <p><解剖見学> 4時間 山口大学医学部で見学</p>		
テキスト	新看護学1 人体のしくみとはたらき 医学書院		
評価の方法・基準	筆記試験(100点)		